

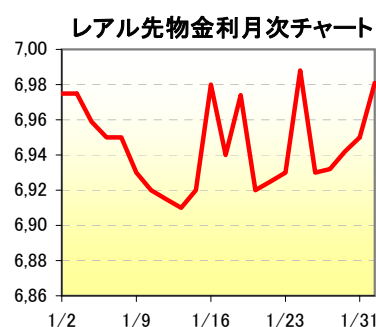
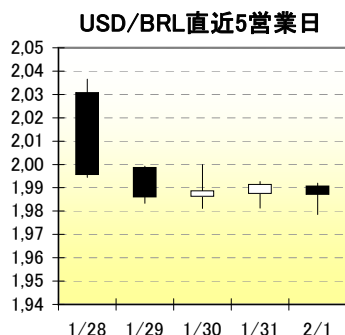
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			1月28日	1月29日	1月30日	1月31日	2月1日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0010	1,9850	1,9870	1,9880	1,9870	-0,0010
	USD/YEN	Spot	90,77	90,73	91,08	91,38	92,78	+1,4000
	EUR/USD	Spot	1,3459	1,3493	1,3566	1,3574	1,3665	+0,0091
	BRL/YEN	Spot	45,48	45,68	45,79	45,87	46,67	+0,8000
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,58	1,53	1,43	1,37	1,44	+0,0707
		1Year(p.a.)	1,59	1,56	1,51	1,47	1,53	+0,0643
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,08	7,05	7,06	7,07	7,10	+0,0373
		1Year(p.a.)	7,26	7,22	7,21	7,24	7,29	+0,0530
Stock	Bovespa		60.027	60.406	59.337	59.761	60.351	+589,67
Bond	CDS Brazil 5y		107,00	108,50	109,08	113,75	117,50	+3,7500
	Global 40		124,525	124,775	124,975	125,125	124,750	-0,3750

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FGV CPI IPC-S (1月31日)	1.10%	1.01%	1.03%	
鉱工業生産(季調済/前月比,12月)	-0.4%	0.0%	-1.3%	
鉱工業生産(季調前/前年比,12月)	-4.8%	-3.6%	-1.1%	
製造業購買担当者指数(1月)	—	53.2	51.1	
貿易収支(FOB)-月次(1月)	-\$3400M	-\$4035M	\$2250M	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は US\$1=R\$2.0310 で寄り付いた。
- 週初レアルは寄り付き後に売りが優勢となり、週間安値となる US\$1=R\$2.0370 まで売り進まれたが、伯中銀が市場予想に反して1月31日に満期を迎える18億ドル相当のドル売りスワップのポジションをロールすると通知したことを受けて、レアルは急伸し、一気に2.0150まで上昇した。更に午後にかけては大口の資金流入が噂され、レアルは2.0100を上抜けて続伸した。
- 翌29日にも大口の資金流入が噂され、レアルは昨年7月以来の水準となる1.9850まで買い進まれた。
- 週央にかけてはマンテガ伯財務相が「為替政策に変更はない」とコメントしたことから市場では伯政府は以前と変わらず行き過ぎたレアル高を許容しないとの思惑が広まり、レアルは一時2.0000まで売り戻される局面も見られたが、直後に伯中銀がドル売りスワップの入札を実施すると通知すると、レアルは再び1.98台後半まで反発した。
- 31日には月末のPTAX決定に向けてのドル買い需要が強く、レアルは1.99台前半まで売り進まれたが、伯政府が海外投資家に対する不動産投資信託に掛かるIOF税を免除すると通知したことを受けて、市場では引き続き当局のレアル高進行に対する上限を試す動きが散見された。
- 週末にかけても、レアル買い圧力は弱まらず、レアルは週間高値となる US\$1=R\$1.9790 まで買い進まれたが、伯政府が過剰なレアル高は認めないとコメントしたことを受けてレアルは急反落し、結局 US\$1=R\$1.9870 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A**5.来週発表される主要経済指標**

日付	イベント	期間	予想	前回
2/4	FIPE消費者物価指数(月次)	Jan	1.06%	0.78%
2/4	貿易収支(FOB)-週次	Feb 3	--	--
2/5	FGVインフレ率-IGP-DI	Jan	0.25%	0.66%
2/5	PMIサービス業	Jan	--	53.5
2/5	CNI生産設備稼働率	Dec	81.5%	81.4%
2/7	FGVインフレ率-IGP-M(プレビュー)	jan/31	0.15%	0.34%
2/7	IBGEインフレ率-IPCA(前月比)	Jan	0.85%	0.79%
2/7	インフレ率(IPCA)-IBGE(前年比)	Jan	6.15%	5.84%
2/8	FGV CPI IPC-S	Feb 7	--	1.01%

6.来週の為替市場注目点**予想相場レンジ : 1.95-2.03**

今週は週初から市場予想に反して伯中銀がドル売りスワップをロールしたことを受けて市場では当局がインフレ抑制のためにある程度のレアル高を許容するとの見方が強まった。その結果、中銀の姿勢を試す格好で一気にレアル買いが優勢となり、昨年7月以来の水準までレアルが買われた。週末にかけて当局が過剰なレアル高は避ける、現為替水準はインフレ率や経済成長率の妨げにはならないとコメントした一方で、レアル高を促進する海外からの投資に対するIOF税を免除する動きなどもあり当局の姿勢に一貫性は見られない。来週にかけても当局の方針がより明確になるまではレアルの高値を試す動きが見られると思われ、レアル相場のボラティリティは引き続き高い状態が続こう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。